

## アンバサダー

このたび、23 名のアスリートがアンバサダーに就任いただきました。今後も、アスリートの皆様を中心に、アンバサダー協力を呼び掛けていく予定です。

## ■ 決起大会出席者（4名）

野村 忠宏	柔道家	
スポーツ 1000 言	スポーツをする喜びを感じながら、心と身体を鍛え続けます！色んなスポーツにチャレンジするぞ！	
<p>アトランタオリンピック、シドニーオリンピックで 2 連覇を達成。その後、アメリカへ留学。2 年のブランクを経てアテネオリンピック代表権を獲得し、2004 年アテネオリンピックで柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となるオリンピック 3 連覇を達成する。その後、たび重なる怪我と闘いながらも、さらなる高みを目指して現役を続行。2015 年 8 月 29 日、全日本実業柔道個人選手権大会を最後に、40 歳で現役を引退。現在は、国内外にて柔道の普及活動を展開。</p>		
大山 加奈	元全日本女子バレーボール代表 ★ バレーボール（インドア）に出場予定	
スポーツ 1000 言	年齢、性別、国籍の垣根を越えて、全ての人が「夢に向かって」輝く舞台になるようパワーを送ります！	
<p>小中高全ての年代で全国制覇を経験し、高校卒業後は東レ・アローズ女子バレーボール部に入学。全日本には高校在学中の 2001 年に初選出され、オリンピック・世界選手権・ワールドカップと三大大会すべての試合に出場。力強いスパイクを武器に「パワフルカナ」の愛称で親しまれ、日本を代表するプレーヤーとして活躍した。2010 年 6 月に現役を引退し、全国での講演活動やバレーボール教室に精力的に取り組み幅広く活動している。</p>		
斉藤 和巳	野球解説者 ★ ゴルフに出場予定	
スポーツ 1000 言	京都出身者として、海外の方々に“ならでは”のおもてなしを伝えたい！	
<p>1996 年、ドラフト 1 位で福岡ダイエー（現ソフトバンク）ホークスに入団。エースとして常勝ホークスをけん引し、数々のタイトルを獲得した。ただ、多くの時間は怪我との戦いで、2013 年に引退。現在は野球解説者として、自身の見識を伝えている。</p>		
荻原 次晴	スポーツキャスター	
スポーツ 1000 言	年齢、性別、国籍の垣根を越えて、全ての人が「夢に向かって」輝く舞台になるようパワーを送ります！	
<p>双子の兄・健司とともにルディック複合選手として頭角を現し、'94 年からワールドカップに参戦。世界選手権では団体金メダルを獲得する。日本を代表する選手に成長し、念願の長野五輪に出場、入賞を果たした。引退後はスポーツキャスターとしてメディアに多数出演。オリンピックの代表格の 1 人として、ウィンタースポーツをはじめ広くスポーツの普及活性に取り組んでいる。アウトドア活動の経験から「次晴登山部」を発足。日本百名山登山に挑戦中。</p>		
※ 以下、50 音順で掲載		
青木 愛	元シンクロナイズドスイミング日本代表	
スポーツ 1000 言	全出場国・地域の参加者とハイタッチをする。	
<p>京都府京都市出身。地元の名門クラブで水泳をはじめ、8 歳から本格的にシンクロナイズドスイミング（現名称：アーティスティックスイミング）に転向。ジュニア五輪で優勝するなど頭角を現し、中学 2 年から井村雅代氏（現・代表ヘッドコーチ）に師事。20 歳で世界水泳に臨む日本代表に初選出される。しかし、ケガなどで補欠に回ることが多く、苦労の末、劣勢を覆し北京五輪代表入り。欧米選手に見劣りしない恵まれた容姿はチーム演技の核とされた。引退後は、メディア出演を通じて幅広いスポーツに携わっている。</p>		

朝原 宣治	大阪ガス株式会社、北京オリンピックメダリスト	
スポーツ 1000 言	私も 10 年ぶりに競技復活しましたので、2021 大会まで調子を上げていきたいです。一緒に競技を楽しみましょう！	
<p>高校時代から陸上競技に本格的に取り組み、走り幅跳び選手としてインターハイ優勝。大学では国体 100m で 10 秒 19 の日本記録樹立。その加速力から「和製カール・ルイス」と呼ばれた。大阪ガス株式会社に入社、ドイツへ陸上留学。初出場の 1996 年アトランタオリンピックの 100m で準決勝に 28 年ぶりに進出。自身 4 度目となる 2008 年北京オリンピックの 4×100m リレーでは、悲願の銅メダル獲得。同年 9 月競技生活引退（36 才）。世界陸上には 6 回出場。2010 年に次世代育成を目的として陸上競技クラブ「NOBY T&amp;F CLUB」を設立。これは大阪ガスグループの地域貢献活動の一環でもあり、引退後も自身のキャリアを社会に生かそうとチャレンジを続けている。</p>		
有森 裕子	元マラソン選手	
スポーツ 1000 言	スポーツが生む “生きる力” をこれからも信じ全力で応援するぞ！	
<p>1966 年岡山県生まれ。バルセロナ五輪で銀、アトランタ五輪で銅メダルを獲得。2007 年に競技を引退し現在、ハート・オブ・ゴールド代表理事、スペシャルオリンピックス日本理事などを務める。スポーツの普及・発展に貢献し、2010 年 6 月には国際オリンピック委員会（IOC）スポーツ賞を日本人として初めて受賞。</p>		
岩崎 恭子	スイミングアドバイザー	
スポーツ 1000 言	スポーツで笑顔に！ WMG を通して 1000 人 1000 通りの笑顔に出会いたい。	
<p>競技者として姉を追いかけ、競泳大会に出場。バルセロナ五輪選考会で残り 1 枠を姉と争い、周囲の予想に反して出場権を獲得。メダル候補にも挙がらない無名の存在から驚異的な成長をみせ、競泳史上最年少金メダリストに輝く。名言として残るインタビューも相まって、一躍時の人となった。過剰な注目に苦悩したが、奮起してバルセロナ大会で 2 度目の五輪出場を果たす。引退後は児童の指導法を学ぶために米国へ留学。レッスンやイベント出演を通して、水泳の楽しさを伝えている。</p>		
大西 将太郎	元ラグビー日本代表	
スポーツ 1000 言	大会期間中、たくさんの会場に足を運び、1000 人以上の選手、来場者の方々と握手をして交流を深めます。	
<p>大阪府東大阪市出身。地元ラグビースクールで競技を始め、高校、大学で好成績を収める。日本代表には同志社大 4 年時に初選出され、通算 33 キャップ出場。2007 年ワールドカップフランス大会では日本代表の連敗記録を止める活躍を見せた。ラグビートップリーグでは 2007-08 シーズン時にベスト 15、得点王、ベストキッカー賞に輝く。2016 年 1 月に引退を発表。現在は立命館大ラグビー部バックスクーチを務める傍ら、解説や普及活動に注力している。</p>		
奥野 史子	スポーツコメンテーター	
スポーツ 1000 言	関西発のスポーツの祭典として、参加する選手や関係者だけでなく、みんなで楽しめる大会に！	
<p>京都市生まれ。同志社大学大学院修了。バルセロナ五輪シンクロ銅メダリスト。1995 年に現役引退し、その後はスポーツコメンテーターとしてテレビやラジオなど各種メディアで活動。2000 年から 2 年間シルク・ドゥ・ソレイユで、日本人として初めてラスベガスで最高峰の水中ショー「O（オー）」に出演。京都市教育委員や日本水泳連盟アスリート委員なども務める。夫、朝原宣治（北京五輪 4 × 100 m リレー銀メダリスト）さんとの間に 1 男 2 女。</p>		
奥原 希望	バドミントン選手	
スポーツ 1000 言	1 人でも多くの人にスポーツをやる喜びを感じて欲しい、私自身も頑張ります!!	
<p>1995 年 3 月 13 日、長野県大町市出身、埼玉県立大宮東高等学校卒業、日本ユニシス所属。スーパーシリーズファイナル日本人女子シングルス初制覇。全英オープンでも日本勢 39 年ぶりとなる優勝を飾る。2016 年のリオデジャネイロオリンピック女子シングルス代表に選出され、シングルスでは日本人初となる銅メダルを獲得。2020 年の東京オリンピック出場、金メダル獲得を目指す。</p>		

小椋 久美子	元バドミントン日本代表／スポーツキャスター／バドミントン解説者	
スポーツ 1000 言	スポーツの魅力がたくさんの人に伝えたい！様々な競技のルールを勉強します！	
<p>1983年7月5日生まれ。三重県出身。8歳の時、姉の影響を受けバドミントンを始める。2002年に全日本総合バドミントン選手権シングルスで予選から出場し優勝。2007年世界選手権3位、翌年の北京オリンピックで5位入賞。全日本総合バドミントン選手権では5連覇を達成。2010年1月に現役を引退。現在はメディア出演、スポーツキャスター、バドミントン解説・指導を主にバドミントンを通じてスポーツの楽しさを伝える活動を行う。</p>		
狩野 舞子	元女子バレーボール日本代表	
スポーツ 1000 言	世界中の方々にもっともっとスポーツを、もっともっとバレーボールを好きになってもらえるよう、盛り上げていきます！	
<p>15歳で全日本代表候補に選ばれ、春高バレーなどで活躍後、久光製薬スプリングスに入団する。左右のアキレス腱断裂など多くのケガに悩まされる中、海外へも挑戦。2012年に念願のロンドン五輪に出場。銅メダルを獲得する。翌シーズンから久光製薬に復帰してセッターに転向。1年間の休養を挟み、PFUブルーキャッツではスパイカーとして2017/18シーズンのVチャレンジリーグの準優勝に大きく貢献。2018年5月、現役を引退。引退後はこれまでの経験を活かし、活動の場を広げている。</p>		
亀山 つとむ	野球評論家	
スポーツ 1000 言	大会中に、1000人の方々とはスポーツについての言葉を交わす！	
<p>大阪府大阪市生まれ。鹿屋中央高校から、1988年にドラフト外で阪神タイガースに入団。内野手から外野手に転向し、ウエスタンリーグで盗塁王、2年連続の首位打者を獲得する。また、全力プレーをモットーとし、一塁へのヘッドスライディングやダイビングキャッチでファンを沸かせた。同時期に活躍した新庄剛志氏と共に「亀新フィーバー」を巻き起こし、低迷していたチームの躍進源となった。その後は故障に悩み、28歳で引退。野球解説・評論活動を行う傍ら少年野球チームの監督を務め、世界大会優勝にも導いた。</p>		
桑田 真澄	野球評論家	
スポーツ 1000 言	2021年まで、キレのある球を投げられるコンディションを維持します！	
<p>1968年兵庫県西宮市生まれ。野球解説者、野球評論家。PL学園高校で5季連続甲子園大会に出場し、通算20勝エースとして活躍する。1985年、読売巨人軍にドラフト1位指名で入団。プロ入り2年目に2桁勝利し沢村賞を獲得、94年には年間 MVP に選ばれた。1995年に右肘靭帯断裂の重傷を負い一時戦線離脱をするが、手術を受けて1997年に復帰。2002年最優秀防御率。2006年にはメジャーリーグへ挑戦を表明し、ヒッツバーグ・パイレーツに入団。2007年6月にメジャー初登板。2008年に現役引退。2010年に早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修了。現在は東京大学大学院総合文化研究科で特任研究員として研究を続けている。野球解説、評論、執筆活動、講演活動も行っている。</p>		
迫田 さおり	元女子バレーボール日本代表、ロンドン五輪銅メダリスト	
スポーツ 1000 言	誰でもたくさんのスポーツにチャレンジできる夢のような大会。いろいろな角度からスポーツの面白さを伝えていきます。	
<p>小学3年からバレーボールを始め、中学・高校ではセンターエースとして活躍。高校卒業後の2006年にVリーグの東レアローズに入団。10年4月からは、全日本女子バレーボール代表登録メンバーとなり、数多くの世界大会で活躍。12年8月のロンドンオリンピックでは、全日本28年ぶりのメダル獲得に大きく貢献。16年のリオオリンピックにも出場し、5位入賞。16-17プレミアリーグ及び黒鷲旗大会に出場した後、17年5月をもって東レを退団。現役を引退し、現在は、テレビ、トークショー、バレーボールのクリニックなど、さまざまな活動を行っている。</p>		
鈴木 尚広	スポーツコメンテーター	
スポーツ 1000 言	感動を呼ぶスポーツの魅力を伝えます！	
<p>5歳から本格的に野球を始め、1996年から読売巨人軍で20年プレーをする。2008年ゴールデングラブ賞、日本シリーズ優秀選手賞を受賞。2016年にはオールスターゲームへ出場。代走日本記録132盗塁を達成し、6度のリーグ優勝、3度の日本一を経験する。2016年10月に引退を発表。</p>		



千葉 真子	マラソンランナー	
スポーツ 1000 言 皆の心を繋げよう！大会を通して 1000 人以上と友達になります。		
京都府宇治市出身。長距離の名門・旭化成に入社後、才能が開花。10000m でアトランタ五輪 5 位入賞、世界選手権で銅メダル（日本女子トラック長距離種目初）を獲得するなど国際舞台で活躍した。マラソン転向後はけがに苦渋し、新天地での再挑戦を決断。小出義雄氏に師事した。2 度目の世界選手権はマラソンで銅メダルに輝く。第一線を退いた後は、ゲストランナーとして全国のマラソン大会に参加。「千葉真子 BEST SMILE ランニングクラブ」を立ち上げ、市民ランナーの指導や普及活動も積極的にやっている。		
寺川 綾	スポーツキャスター	
スポーツ 1000 言 大会期間中、参加者の皆さんと一緒に熱い闘いをお届けします！		
大阪府大阪市出身。3 歳より水泳をはじめ。高校 2 年の 2001 年世界水泳選手権に初出場。その翌年、パンパシフィック水泳では 200m 背泳ぎで銀メダルを獲得。以降、アテネ、ロンドン五輪 2 大会出場、世界選手権 3 大会出場と国際大会で活躍。ロンドン五輪では個人種目（100m 背泳ぎ）、リレー種目（4×100 メドレー）で 2 つの銅メダルを獲得した。50m 背泳ぎ、100m 背泳ぎの日本記録保持者。13 年、現役「卒業」を表明。現在はスポーツキャスターをはじめ、多方面で活躍している。		
廣田 遥	元トランポリン日本代表	
スポーツ 1000 言 スポーツが TSUNAGU 笑顔に出会います！		
大阪府箕面市出身。小学 6 年時の短期留学中の豪州でトランポリンと出会い、その後、本格的に競技を始める。2004 年のアテネ五輪では 7 位入賞。08 年の北京五輪にも 2 大会連続出場を果たす。全日本選手権では 01 年から 10 年まで前人未達の 10 連覇を達成。女子トランポリンの第一人者として活躍した。11 年に現役引退後は、スポーツキャスターとして情報番組などのレギュラー出演をはじめ、メディアや講演会、トランポリン教室などでスポーツの普及、強化を行っている。		
室伏 重信	中京大学名誉教授	
スポーツ 1000 言 参加することに意義があります。そこに輝く素晴らしい世界が待っているからです。		
1960 年、中学 3 年生の夏陸上競技を始める。ハンマー投げでは高校 2 年 3 年とインターハイで 2 連勝、高校新記録を出す。大学 3 年生から始まったスランプを経て、その後アジア大会 5 連覇、オリンピックは 1972 年ミュンヘンから 4 連続代表となる。日本大学経済学科を卒業後、大昭和製紙、日本大学文理学部（三島）、中京大学体育学部講師、助教授、教授を経て中京大学名誉教授。		
八木沼 純子	スポーツコメンテーター	
スポーツ 1000 言 開幕までに 1000 回、大会を PR します！		
早くからフィギュアスケーターとして有望視され、1987 年世界ジュニア選手権で 2 位。88 年、14 歳の記録的な若さで、カルガリー五輪出場を果たす。スピンの美しさを武器に、その後も数々の国際大会に出場した。大学卒業後、プロ転向。18 年に渡ってアイスショー「プリンスアイスワールド」に出演。長くチームリーダーを務め、現在もディレクターとして参画している。また、スポーツキャスターとしても活動し、フィギュア解説の筆頭格として五輪をはじめとする解説などを務める。		
柳本 晶一	一般社団法人アスリートネットワーク理事長／アテネ・北京オリンピック バレーボール全日本女子監督	
スポーツ 1000 言 スポーツゴールデンイヤーズのファイナルとなる今大会が創る「レガシー」に大きな期待を寄せております！		
1976 年モントリオールオリンピック 4 位。1980 年から選手兼監督でチームを牽引し、1991 年選手引退し監督専任となる。1997 年 Vリーグ女子東洋紡オーキスの監督に就任し 2 年目で Vリーグ初優勝。2003 年全日本女子チームの監督に就任し、低迷していた全日本女子バレーチームの復活の立役者としてアテネ・北京、2 大会連続でオリンピックへと導く。2010 年 オリンピックやパラリンピック、世界で活躍したアスリートが集結した「一般社団法人アスリートネットワーク」を立ち上げ、次世代にスポーツの魅力を伝えていく活動を始める。2011 年東日本大震災の後すぐに、「一般社団法人日本アスリート会議」を立ち上げ、被災地支援活動を続け、現在に至る。		

## 大会“アナ”バサダーについて

在阪テレビ局のアナウンサー5人に大会を共に応援していただける「大会“アナ”バサダー（アナウンサーアンバサダー）」に就任いただき、8月18日（土）に関西国際空港にて実施した「大会1000日前PRセレモニー」において、発表しました。

## □ 大会“アナ”バサダー（アナウンサーアンバサダー）



山中 真（毎日放送）



柴田 博（朝日放送テレビ）



福谷 清志（テレビ大阪）



堀田 篤（関西テレビ）



三浦 隆志（読売テレビ）